

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院  
(旧 名古屋第二赤十字病院)で  
診療を受けられる／受けられた患者さんへ  
～臨床研究に関する情報公開について～

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	体表面モニタリングシステムIDENTIFYに関する放射線物理学的検討		
研究実施期間	院長が研究実施を許可した日 ～ (西暦) 2025年 3月 31日		
研究実施診療科	放射線科		
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	2023年 8月 30日	
	院長が研究実施を許可した日	2023年 8月 31日	
対象となる方	(西暦) 2023年 8月 1日 ～ (西暦) 2024年 12月 31日に、当院放射線科において、術後乳癌に対する放射線治療を受けた方		
研究責任者	所属	放射線科	氏名 杉江 愛生
研究の意義・目的	当院に新規導入された放射線治療装置に搭載されている国内初の体表面モニタリングシステムIDENTIFYは、体の表面の動きを追跡して放射線治療を正確に行えるシステムであり、従来の治療に比べて体の表面につけるしるしを減らすことができます。体の表面のしるしを減らすにあたって減らしても正確に放射線が当たっていることを確認する必要があること、またこのシステムを用いて放射線治療期間中に胸部の形の変化を検出して放射線の当て方をより正確に修正することができる可能性があり、そのために放射線治療期間中のこのシステムのデータをあとから解析して確認・評価することが目的です。		
研究の方法	対象となる方の放射線治療後にIDENTIFYに記録された体表面の位置・移動データについて、統計学的に解析・検討します。		
研究に使用するもの	電子カルテおよび放射線治療装置から得られる情報を、個人を直ちに特定できるような情報とは切り離れた状態で使用します。(年齢、体重、性別、病歴、疾患等の基本情報、放射線治療の情報等)		
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。		
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・		

	管理します。
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報等は、将来、本研究に関連する別の研究のために利用させていただく可能性があります。その場合には、その計画について別途倫理審査を受け、承認を得た上で使用します。二次利用を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
問い合わせ先	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 放射線科 杉江 愛生 電話 052-832-1121 (代表)